

2022年9月15日

☆☆ 大阪公立大学工学部化学バイオ工学科同窓会が設立されました ☆☆

化学バイオ工学科同窓会
会長 神門 登(S45年応化)

1. 設立に至る経緯

2022年4月から大阪公立大学がスタートしましたが、市大・府大の工学系同窓会関係者での協議を踏まえ、各学科の特徴を生かした「学科別同窓会」も活動を進めていくことになりました。しかしながら 化学バイオ工学科には受け皿となる同窓会組織がありません。そこで2021年6月に化学バイオ系理事6名と化学バイオ工学科教員2名で、「化学バイオ工学科同窓会設立委員会」を発足させ、協議を行ってまいりました。

その結果 2022年2月に化学バイオ系評議員による設立評議員会を開催し、「大阪市立大学工学部化学バイオ工学科同窓会」の設立、並びに 2022年4月1日付けで「大阪公立大学工学部化学バイオ工学科同窓会」に名称変更する旨が承認されました。

2. 会則について

本会は、会員相互の親睦を図るとともに、大阪公立大学、大阪公立大学工学部及び化学バイオ工学科の運営を支援し発展に寄与する事を目的とする。

本会はその目的を達するために、同窓生間の親睦を図る事業、大学、工学部及び化学バイオ工学科の運営を支援する事業、会員情報の管理及び個人情報の保護、その他、本会の目的を達するために必要な事業等を行う。

本会は正会員(卒業生、修了生)、準会員(在学生)、特別会員(旧教員及び教員)の各会員をもって構成する。準会員は大阪市立大学化学バイオ工学科の在学生および大阪市立大学大学院化学生物系専攻に在学する院生を含む。

本会の運営のため、役員会、理事会、評議員会を置く。

本会に名誉会長、会長、副会長、会計、監事等を置く。

3. 会員数について

本会の会員数は2021年7月現在 約3,000名、連絡可能な会員は2,000名弱です。評議員は155名、理事・監事合わせて12名です。

4. 2022年度事業計画(2022年4月1日~2023年3月31日)について

本年度は、1)評議員会、理事会の開催、2)会員相互の親睦を図る事業、3)大学、工学部および化学バイオ工学科の運営を支援する事業、4)広報事業、5)会員情報の管理等を計画しています。

設立1年目の「基盤づくり」として、理事会の開催、情報交流の手段としてホームページの開設、会員情報の整備(メールアドレス含む)、在学生を対象とした卒業生による講演会の開催に注力しています。特にホームページの活用は、迅速な情報交流と経費低減の観点から大きな課題と考えています。

5. 2022年度予算(会計年度 2022年4月1日から2023年3月31日)について

収入は新入生からの終身会費、主たる支出はホームページ開設費用、交流会費用、会員情報整備等です。

6. 最後に

化学バイオ工学科は、新大学が掲げる理念のもと、益々成長・発展していくものと確信しています。多くの同窓生も化学バイオ工学科への支援を惜しまないことでしょ。

従来 化学バイオ工学科では学生・教員・卒業生の相互交流はあまり活発ではなかったと思います。本会の発足により、今後様々な形態で「交流の機会」を提供できるものと考えています。

新しい同窓会の歴史をご一緒に作っていきましょう。
会員皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。